

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所情報広報課広報係までご連絡ください。(☎③4313広報係直通)



みんなの広場

↓防災に対する意識の高揚を訴える片山さん



災害ボランティアの経験をもとに意見を発表する伊万里高校2年の吉永沙希子さん



8.24



パネルディスカッションで、事例発表を行う山元記念病院の山元章生さん(右から1人目)

安全のために平素が大事

防災や減災について考えてもらおうと、市民センターで『防災・減災フォーラムinいまり』が開催されました。この日、慶應義塾大学法学部教授の片山善博さん(元総務大臣)が講演し、鳥取県知事時代などの経験をもとに、「よその地域で起こった事例を、自分たちの問題として捉えることが重要だ」と訴えました。また、パネルディスカッションでは、地域で防災に取り組む市民の代表と塚部市長が事例などを発表し、活発に意見を交わしました。

交通安全を願い手作り人形を贈呈

市民の無事故の願いを込めて市老人クラブ連合会女性部の皆さんが1個1個丹念に作った交通安全マスコット人形400個を贈りました。この取り組みは今年で22回目。この日は、市老人クラブ連合会の井手恭子副会長ほか5人が来庁し、人形を塚部市長に手渡しました。市では、秋や冬に行う交通安全キャンペーンなどで配る予定です。



9.12

↑「子どもや家族を連想して安全運転を」と話す井手さん(右から2番目)

↓小道具を使ったおはなしや多くの民話を語り聴衆を魅了した藤田さん



9.10

赤ちゃんには生の声で語りかけを

市制60周年と、3か月児健診に合わせて絵本を贈るブックスタート事業10周年を記念して、市民図書館で藤田浩子さんの講演会が開催されました。「言葉になっていない赤ちゃんの声を想像しながら語りかけることで信頼関係が深まる」と話す藤田さん。参加した多くの親子連れなどは、藤田さんのリズム感あふれる話を楽しそうに聞いていました。